

学校関係者評価委員会

1. 日時 令和3年8月28日(土) 13時～14時30分

2. 場所 101教室

<https://zoom.us/j/9782424893?pwd=OEEzMVYwR3lMNWxjaHNxcDZqcGxjQT09>

ミーティング ID: 978 242 4893 パスコード: 7034 (zoom01@icmn.ac.jp)

3. 委員 橋本学校長 神田副学校長 松井事務局次長 鈴木教務副部長

落合教務副部長 内井事務副部長 三宅(卒業生)

打田センター長 水谷校長 原看護理事

太田理学療法士会長 福田臨床工学技士会長 西本言語聴覚士協会理事

(欠席予定)

4. スケジュール

時間	内容	<場所>・準備など	担当
12時30分	ZOOM 接続テスト	101教室	加藤
12時55分	参加者接続確認		加藤 進行・・・(代理) 笠原 書記・・・加藤 録画・・・加藤
13時00分 (15分)	委員会 1) 開会 2) 学校長挨拶 (2分) 3) 学校関係者評価委員会の説明(3分) 4) 自己紹介(5分) 5) 議事	【対応責任者】 I 教育理念・目的；松井 II 学校運営；松井 III 教育活動；鈴木・落合 IV 学修成果；鈴木・落合 V 学生支援；鈴木・落合 VI 教育環境；鈴木・落合 (実習関連含む) VII 学生募集と受入れ；内井 VIII 財務；松井 IX 法令等の遵守；松井 X 社会貢献地域貢献；鈴木・落合	(代理) 神田副学校長 松井
13時15分 (75分)	①学校運営について (5分程度) ②自己点検評価結果より 意見交換		学内委員 ① (代理) 松井次長 ②松井・鈴木・落合
14時30分	6) 閉会 ZOOM 退出 教育課程編成委員の方は 10分間休憩		

議事録

司会

新型コロナウイルス感染拡大防止の中オンラインで対応させていただきます。

録音をさせていただくことのできることを承をお願いします。

学校長代理副学校長

ご対応のところ学校関係者評価委員会のほうに参加いただきありがとうございます。多くのご指導をいただき厚く御礼を申し上げます。

島根県においても感染拡大があり、注意を怠らないように学生指導を徹底しております。

他職種他施設学校との連携を強化しながら職員満足度貢献にも向上を図っております。

PDCA サイクルを回すために委員の意見を聞かせてください。

職業人教育を通して優秀な人材を輩出し、地域貢献を行っていきたいと考えます。

短い時間ではあるがよろしく願いいたします。

自己紹介（順敬称略）

水谷 太田 福田 西本

神田 松井 鈴木 落合 内井 司会笠原

合計 10 名の開催

主席出来なかった打田 三宅 橋本につきまして別の公務が入っているため欠席となる。

打田委員長欠席のため笠原が議事進行を行う。

自己点検自己評価を毎年実施している。次年度に向けて学校運営や教育活動を行う。教育の質の向上を図るものである。今回は忌憚のないご意見をいただきたい。

PPT を活用させてもらう。内容については自己点検自己評価の資料を基に作成している。今後の対策と対応今年度取り組んだ内容をまとめている。そこから意見をいただきたい。

1、教育理念・目的 松井

①常日頃ミッションビジョンのコンセプトについては必ず冒頭で話をさせてもらう内容である。ミッションやビジョンは素晴らしいと評価をいただいていたが教職員に周知できているかのご意見をいただいた。教職員に周知できていると考えているが見えるかをして生きたと思っている。教務室にミッションやビジョンの書いたものを張っている。

②遠隔授業が定着している 到達目標に達成しているかわからないため、遠隔授業を充実させていかなければならない。学外実習の適応の導入を行っている。

③社会人の学び直しを行っている。現在進行中の件は臨床工学技士の専攻科を 1 年で取れるコースを設立する。看護理学放射線検査などの資格を有している方、大学卒業の方が入学できるコースである。

医療業界は変わっていくため新たな価値を出すためにWライセンス取得をして業界で活躍してもらいたいという意向で専攻科の設立に至った。

教育の内容の報告もあるが、感染対策を行ったうえで活動していきたい。

課題と対策に関して産学官連携に関して高専連携の授業も進めている。出雲市内の高校と連携を行っている。

I C T教育の充実D Xの時代にはいつてくるため教育現場でもD Xの新たな教育が必要だと考える。

教育目的と方針 3つのポリシーは教務室に掲げている。

2、学校運営

5つの数字を常に意識して運営を行っている。入学者数・学費未納・卒業者数・国家試験合格数・就職数
5年ごとの事業計画を行い学校運営を行っている。今年度の取組みとして滋慶学園グループも7期に入る。新たな7期5か年計画を行っている。DXなどの取り入れ各セクションに分かれて事業計画を立案しながら考えている。

新型コロナウイルスの感染対策を重点的に行っている。本校で5月2名の感染者が出た。毎日学生・教員ともに活動記録の提出を義務付けている・7月初旬と8月初旬に職域接種を行った。

一つ一つの業務の見直しで業務を洗い出し計算を行った

前期後期の学校運営の振り返りを行う。前期の振り返りをおこない後期に活かしたい。

教務システムのソフトウェアを積極的に活用し、就学状況を把握できるように情報共有できるように行っている。

ヒト・モノ・お金の資源を大切にすることが情報を中心に共有するためにサイボウズや teams で業務管理をしている。

司会

教育理念・目的は昨年度 3.5 であったが 3.7 まで上がっている。

学校運営は昨年度 3.0 から 4.0 に上がっている。

打田委員長から評価をいただき教育理念 4.0 学校運営は 4.0 を頂いている。

今の意見を参考にしながらご意見を頂きたい。

水谷

学校評価の評価が 4.0 でよい評価が出ているのがすごいと感じる。細かい項目がないためなんともいけない。教職員全員の結果の評価と感が手もよいか。

松井

教職員全員の評価である。

水谷

細かいことをしっかり決め丁寧に行っているのだなと感じた。高校でも入試改革の方でもフォートポリオを作って大学入試に活用するようにしたがあかなかうまくいかず個々で進学指導部を中心に行っている。

教務システムは教職員が閲覧できる。教員通しで状況共有し教職員でケアをしていくというのは大切なことだ。

国家試験合格率に関しては 100% っていないがしっかり頑張っているのだと感じる。

募集定員に関して教えてほしい

松井

看護・理学に関しては定員に充ちている。臨床工学は定員に充ちることができなかった。医療総合学科を今年から3コースで立ち上げ運営を行っている。昨年度は募集に苦戦をしており、定員を満たすことができなかったが看護と・理学に関しては定員を満たせた。

きょうかはこのままでよい。

3 教育活動

落合

教育活動の取り組みは事業計画にて目標設定を明確にする。

PT学科の昨年度より新カリキュラム実施、看護学科は次年度より新カリキュラムで実施する。申請書類を整えているところ、科目と実習内容は今までと違った内容となっている。

授業アンケートの実施 教員の自己の教育の振り返りに活用

前期が8月に終了するため科目認定試験終了後実施予定。授業アンケートに関して毎年行っている。昨年よりリモートで実施しており、今年もリモートで行う。リモートも学生は慣れてきて大きな影響はない。

プレカレッジに関して毎月1回開催。学習内容で合ったり生活面で合ったりと指導を行っている。スムーズに授業に移行している。

キャリアデザインの講座開始 1年～3年生を通してキャリアデザイン講義を行っている。マナーや働き方就職活動までを行っている。学生に今後の設計を考えさせ就職や将来につなげている。

学校も他職種連携として学科間連携を行っている。お互いの職種理解を深める。意識づけになり今年度は理学療法士学科と看護学科から希望者ME来月受験

4 学習成果

鈴木

今年度より在校生を対象とした就職ための自己理解の実施を教育プログラムに導入。

リカレント教育(学び直し教育)の実施。卒業された方でも学び直すことにより新たに社会に出てもらう新しい分野へ挑戦できる。

国家試験対策におけるスケジュールの前倒し

国家試験の合格率も落ち込んでいる状況もある。いろんな事情があり国家試験の合格率に結びついていない。スケジュールの前倒しを行い、模擬試験を1ヶ月くらい前倒しする。

コロナがいつ猛威を振るうかわからないため早めの対策を行う。

司会

3 教育活動について前回 3.5 今回 3.9 打田委員長 4.0

4 学習成果 3.5 から今回 3.3 打田委員長 3.0

太田

各学校の中で言っていることでコロナが続いていて職場に2年目の子がいつまでこの状態を我慢すればよいかと言っていた。医療従事者がこの発言をしているのが残念。各学校で医療に携わってお金をもらうという意味や重要さをどのように学生へ伝えているか。

落合

入学したときにオリエンテーションを行う。意識づけの一環で医療従事者の心得を伝える。各学科概論や倫理の科目で医療人としての指導を行っている。

太田

仕事をしていくためのメンタルはどのように伝えているか。メンタル的に弱くなってきている傾向がある。

鈴木

理学療法士学科を目指してくる学生でも本当は理学療法士になりたくなかったんだけどとりあえず医療職という学生が増えてきている。なぜ理学療法士を目指し何がしたいかを認識させることで挫折をなかなかしないのではないか。

両親に説得され入学された学生は初期の段階でつまづく。理学療法士になったらという授業を展開している。

福田

令和 2 年度の自己点検自己評価であると思うが今年度行っていることばかりで昨年の振り返りが無い。今年度の活動を報告されるのであれば令和 3 年度の事ではないか。

司会

資料に関してはご指摘があったように改善していきたい。今回発表させている内容については昨年度の自己点検評価の課題と対策に対する取り組みで話をしている。当然今回の報告は今の取り組みでもあるが、前年度の反省点があったため今年度はこの取り組みをしたという内容である。

福田

前年度の課題点を中心に報告してもらいたい。昨年よりも評価が下がっているものに対してどのように取り組んだかを明確にしてほしい。比較してもらいたい内容を付けてもらわないと評価しにくい。

司会

学校運営のほうで今後の課題と対策とあるが、昨年の評価を見ても R2 の評価が低かったところをピックアップしている。人事給与制度や情報システムなどが 3 前後であり、今回はピックアップした。

教育活動について目標設定と授業評価について挙げさせてもらっている。令和 2 年度 3.0 授業評価 3.0 となっているためピックアップした。

学習成果のところは卒業生の釈迦人的評価 2.5 極端に低かったためピックアップした。

福田

評価点が上がっているものよりも下がっているものを前年度比と比較し明確にってもらいたい。

5 学生支援

就職フェアが対面ができなかった、オンラインによる開催を行う。4 月 9 月に分かれて実施・健康管理は感染対策の指導を行っている。職域接種の実施も行った・学生支援センターは学習支援センター学習面のサポートだけではなく学習面と生活面を療法指導できるように

1 人暮らしの学生に料理教室を行ったりしている。

学習面では通常授業だけでは理解できない学生もいるため放課後を使いフォローできる体制を作っている。

保護者会に関してコロナ禍で関与年防止がひつようなために 1, 2 年生の保護者会は電話対応を中心に行う。

3 年生についても 4 月に電話対応を個別に行う。

感染拡大防止にしたがい本校の活動基準を独自に作成して教員・学生に周知指導を行う。

6 教育環境

大雨の被害 窓枠からの水漏れにより修繕が必要。学生の影響が出る被害はない。早めに修繕箇所の修理を行う。

臨床実習も例年通り病院施設に行っていくことがコロナの影響で難しくなった。学内実習で補填を行っているが実際に患者や医療の現場で実施できずオンライン実習というのを検討してる。看護学科からモデルケースを作る。

避難訓練についてもコロナ禍で行うことができないため、昨年からビデオを見てもらいレポート提出を行う。少しでも防災に対する意識を持つ。

安否確認に関して学園として安否確認のツールを作成。9 月にテスト配信を行う。

学生支援 打田委員長 3.0

教育活動 打田委員長 3.0

西本

言語聴覚士の立場から言うと言語聴覚士学科が閉科になると聞いたが卒業生に対しての支援は今後どのように考えているか。

松井

在校生も不安を抱えている。年度の初めに学生に説明し、個別対応を行っている。卒業生として同窓会を通じて卒後のフォローや教育に関して教育的支援を継続していく。学校としての配慮を考えており、在校生も就職や国家試験に対して不安を抱えている。しっかりと学生に伝えて教育を実践していきたい。

西本

在校生も支援体制をほしいと思っているためよろしくお願ひしたい。

水谷

学生支援に退学項目があり、昨年度の退学率 1.1%であるが実質 3%と書いてあるのはないか。

学生アパートを設けているが満杯になっている現状であるが入室したい学生がおりさらに学生アパートが必要なのか。

学内カウンセリングを受ける学生はどのくらいか。

鈴木

退学率に関して 1.1%は 2019 年度 2020 年度 2.6% 学園の退学率として 3.0%である。学学校 3%以内に収めるために努力している。学園内で 3%未満に抑えている学校は少なく本校は比較的少ない。

松井

アパートのニーズはある。一人暮らし用の物件は少なくて高い。シェアハウス（古民家再生）の物件を立ち上げていきたいと考えている。不動産を通すと高くなるため大家と連携して学生を受け入れてもらう。

学生カウンセリングの内容は対人関係など年間 50 人くらいの相談があった。コロナになり対面ができないため遠隔での相談を併用してきたが件数は落ちている。できるだけ対面で行えるように行っている。

司会

今年度について評価しづらいこともあり今後また評価しやすい資料を送るため評価をお願いしたい。

7 学生募集と受け入れ

内井

学生募集の取り組みをいろいろしている。学園としての 5 つの数字の中の学生募集が重要となってくる。

来校型のオープンキャンパスを実施。学園としてオープンキャンパスは入学前の 1 つの教育という位置づけでいろいろな趣向をこらしながら検討している。

コロナかで病院の見学ができないため、本校で病院見学の代替えを行った。対面できないときはオンラインを使って行っている。

本校として教育の考え方が在学の 3 年間だけではなく入学前卒業後も展開し、学生募集受け入れをする中で入学前教育プレカレッジを企画しているところである。

選抜方法として AO 入試をおこなったが今年度から選抜入試に変更しキャリアデザインを行う。人材育成の目的として入学前から行っている。

自分を発見してもらい 4 月の授業につなげていきたい。

イベントの企画だけではなく保護者にも学費やシステムをせつめいしながら高校生だけではなく学校と学生と保護者が連携できるようなイベントを企画しながら受け入れている。

いろんな企画ということを伝えたが、学生募集だけではなく地域との連携協会との連携を実施している。

8 財務

財務の管理に関して昨年評価を頂いた。内容については決して安泰ではないため収入安定が一番である。財源は年度初めで全ての収入が決まるため広報活動を強化する。

支出に関しては昨年度年 3 回の修正予算をたて収支バランスを調整。

今年などは費用とすると実習費は削減で来ているが、コロナ禍で支出も増えているためバランスを取っているところである。

支出に関してなかなか人件費もかかるため、働き方改革を含めたことも並行しながら財務安定を行っている。年 3 回の修正予算や学校ごとの予算チェックを入れている。内部監査・外部監査が低規定に入っている。財務状況に関して HP にアップ。

9 法令等の遵守

医療総合学科は今年度 4 月より開講 次年度 4 月より臨床工学技士専攻科 1 年生を申請中。就学戦制度も申請中。教育課程編成の申請今年で 3 年目となるため更新していかなければならない。

教職員の人員確保が進んでいない。常に募集をかけながら関係団体に声をかけている。

働き方改革について超過勤務や有給休暇の取得もあるため業務分掌の見直しと働き方改革を実践。半年ごとにチェックを入れながら勤務状況を把握。

司会

打田委員長 財務・法令遵守に関して 4.0

10、社会貢献・地域貢献

落合

今年度の取り組みとして世代別イベントの実施を行う。小学生に対して職種を知ってもらうようイベントをお祭り風アレンジし開催。

看護協会と島根大学・スサノオマジックとの連携

認知症カフェについても 1 回実施。コロナ感染拡大状況を見ながら開催していく。

地域の方々に

職域接種の実施。学生の家族や出雲市内の教育関連、地域住民を対象に接種することができた。

司会

今回評価に関してご協力いただきありがとうございます。

反省点に関しては資料の準備やプレゼンテーションの工夫が足らなかった思う。

次回は工夫して開催していきたい。

松井

新型感染拡大による行動制限もあったが参加してもらい感謝申し上げます。

下位の中で意見をいただいた人材育成の件 食上教育ではなく職業人教育として全精力を注いで頑張りたい。

3 年間教育をするだけでなく入学前から卒後リカレント教育も含めて重点に行っていきたい。

本校は開講 10 年度なる。学校として新たな取り組みをしたい。またいろいろな協力を賜りたい。

積極性人とならぬ人材育成と社会変化に応じた生涯教育を行っていきたい。

司会

閉会の言葉 次回は来年の 3 月予定

委員の改正もあるためまたよろしくお願ひしたい。